

# 地方独立行政法人市立秋田総合病院評価委員会平成26年度第1回会議記録

議 題：1 評価委員会運営要綱について  
2 法人の業務および事業の評価について  
3 その他

日 時：平成26年11月5日（水）17：30～18：30

場 所：秋田市役所研修棟 第1研修室

出席者：【評価委員】鈴木委員、池村委員、河野委員、佐藤委員  
【事務局】田口福祉保健部長、秋山福祉総務課長、眞崎参事、  
西田主席主査、西崎主任、佐藤主事

## 議 事 開 会

事務局

ただいまから「地方独立行政法人市立秋田総合病院評価委員会」を開会する。

本日は、4名の委員にご出席をいただき、本委員会条例に規定されている定足数を満たしていることを報告する。

事務局の市職員を紹介する。

（出席者紹介）

設置者を代表して秋田市福祉保健部長からご挨拶を申し上げます。

（部長挨拶）

それでは議事に入る。

会議の進行を、委員長にお願いします。

---

### 【議事（1）】 評価委員会運営要綱について

委員長

議事の「（1）評価委員会運営要綱について」に関して、事務局に説明を求める。

事務局

（資料1に基づき説明）

委員長

ただいまの説明に、ご意見、ご質問等があれば、お願いします。

委員長

無いようなので、私の方から質問させていただく。  
第2条の「非公開とすることが適当であると認める」というのは、委員の多数決によるものか。

事務局

委員の多数決と考えている。

委員長

他にご意見はないか。  
それでは、評価委員会運営要綱について原案のとおり決定し、本日から施行することとする。

---

**【議事(2)】 法人の業務および事業の評価について**

委員長

次に「(2) 法人の業務および事業の評価について」に関して、事務局に説明を求める。

事務局

(資料2、3に基づき説明)

委員長

ただいまの説明に、ご意見、ご質問等があれば、願います。

委員

評価の実施についてであるが、上場企業であれば3月決算、6月決算発表である。評価によってPDCAをまわし、病院の業務改善に資するものとする、最終的な評価の報告が翌年の9月になるのでは、遅すぎるのではないか。評価を早めることはできないのか。

事務局

平成26年度業務が3月で終了し、その6月末までに法人が市へ実績報告をする。その評価を平成27年度の7月から9月に行うことになる。

委員

もっと言うと、実績調書の作成と提出が3か月程度掛かるが、評価委員会が3か月掛けて前年度評価を行うというのは時間を掛け過ぎではないのか。業務改善として、病院にフィードバックするには遅い。

事務局

時間が掛かりすぎるという点は否めない。行政の立場で、最終的に議会に報告するタイミングである9月に照準を合わせていた。

ただ、対法人という観点からすると、もっと早いタイミングの評価の公表までできるような形で検討させて頂きたい。

委員

企業からすると、決算業務が終わり、監査報告を受けて6月末くらいまでに完結する認識である。その辺はどうなのか。

委員

個人的には、現下の法制度で評価委員会の評価を決めるという意味では、この日程にならざるを得ないと思う。

法人の決算の場合、普通の株式会社の場合と違い、複雑で難しい面があるため、実際は非常に大変そうである。

法制度は対外的に公表する前提で規定されたものなので、このタイミングで仕方がないが、本来は予算を立てるときに仮の評価をしてでも、法人独自でチェックすることが必要であり、そういうところが法人経営で生きてくる話

である。

やるかどうかは別にして、評価委員会から事前に意見が必要であれば受けるというのが現実的な対応かと思う。それは、法制度から離れてプラスでやることであり、別途の話になる。

事務局

実際に他都市の状況を見ても、6月末までに財務諸表や自己評価を提出してもらい、7月、8月の2か月で評価委員会に評価して頂き、最終的に9月議会で報告という流れである。今回の案は、標準的なものである。

ただ、実際はスケジュールとしてはタイトなようだ。来年度、一度実際に評価を行ってみて、前倒しできそうであれば見直すことを考えている。

委員

他の法人を監査する立場で言うと、6月は手一杯な印象を受ける。他にも経験がある委員から感想や意見を頂ければと思うが。

委員

他都市と比べ、標準的だからではなく、標準的なものとならざるを得ない、よって合理的であるという説明でなければならない。

事業年度の実績報告をしっかりとしたものとして出す、そして財務諸表も時間が掛かるので、6月までというのは致し方ないことだと思う。

そうすると、先ほどの意見のように、平成26年度の実績が平成27年6月以降に評価されるとなるとPDCAサイクルを回すにはアクションが出てこないのではないかという話になる。そこは、ご指摘のとおりである。

ただ、私どもの評価をどういうものとして位置づけるかである。つまり、私どもの評価の前に、法人は平成27年度に向けて3月までに年度計画を作成して設置者に提出し公表しなくてはいけない。そこで、粗々かもしれないが、自己点検・評価の基礎的なことをやっているはずである。それが、6月までに固まる。それを、評価委員会で本当にそれで良いのかという目をもって臨むというのが実質である。

地方独立行政法人法は、評価委員会が評価するとは言っているものの、ある程度は事前に法人での評価がされており、その評価で良いのかを評価委員会が踏み込むというのが実態だと思う。それを考えると全くPDCAサイクルが回っていないとも言えない。このように考えると、私はこの制度で致し方ないと思う。

委員

了解した。

ただ、この評価委員会を実効性あるものにするにすれば、年度を重ねていく中でもう少し短縮する努力が必要ではないかと思う。

委員長

評価を受けている側の感想としては、独法になった途端、我々自身が経営運営をしなくてはいけなくなり、スタッフの意識は180度変わった。

少なくとも四半期の財務諸表はしっかり評価しているし、理事会でも意見がある。年度計画を立てるにあたっては自己評価や評価委員会で色々な意見をいただくので、多くはそれを利用して業務改善を図っている。翌年度の最

終評価は重く受け止めている。

他に何かないか。大項目別評価の評価基準について7割というところについて事務局は気にしているようだが。

委員

感覚的には、重要な項目で7割は低いのではないかと思う。他の法人をみても8割、9割とあるので、その水準に合わせ、重要な項目については、別途定める方が合理的だと考える。

委員

大項目評価の基準だが、「A 良好に実施している」と「B 順調に実施している」で差別化が可能なのか。全てⅣ又はⅢで良好というのはわかるが、それより劣る場合、良好とは言えないが順調と言えるという捉え方はどうなのかと思う。

それより、根本的なところで、評価について脚色してはいけないが、メリハリは必要である。

大項目でS、A、B、C、Dとすると、SとDはほぼ出てこない。小項目が合わさり大項目になるので、足らざるところは埋められ、優れたところは下げられ、結局平均的なところに落ちついてしまうのではないか。そういう意味では、メリハリをつけるには、S、A、B、C、Dは小項目段階で行い、それを可視化する方が良い。

その上で大項目段階へ持って行くと、それなりの所に落ちつく。大きなレベルでS、A、B、C、Dが全てつくかと言えばつきにくい。それが率直な意見である。

割合も問題だが、細分化された評価の基準は、どちらかといえば小項目の場合にフィットすると思う。

委員長

そういう意味では、小項目評価のⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳというのは、中途半端に見える。

委員

学校の成績でも70点で良しとは言えないと思うので、エクセレントの評価をもっと上げた方が良い。また、先ほど話にあった、良好と順調の表現が正しいのかということもある。

もう1つ、資料3を拝見すると、小項目と言われているものが、必ずしも同じレベルの話ではない。大きな対応のものと、細かく具体的で客観的に評価しやすいものが混ざっているので、一律に同じように評価をあてていくのは難しい。具体案はないが、項目の出し方にも留意しないとイケない。

委員長

貴重なご意見である。

委員

いずれ、どうしても迷うことは多いのではないか。

そういう意味では、当てはめるというより、全体評価として文章で評価するなど、そういったところが役割を補完していくために必須で重要だと思う。その点では、法人から、項目別の小項目評価だけではなく、自己点検での全

体評価も出してもらおう方が法人の意思を反映できると考える。

委員長

以前、客観的な評価ができるよう、客観的な指標にした方が良いとのご意見があったかと思うがどうか。

委員

恐らく計画の作り方として、中期目標、中期計画の段階で、少しは数値目標が表れてくるだろう。しかし、数値目標が頻繁に表れてくるのは、年度計画の段階である。

年度計画が達成されているかというのを、今回の基準では、中期計画の項目でくくって評価している。ということは、その辺りに何パーセント以上達成されていたら A というような、数値目標に見合った達成度評価があつてしかなるべきである。それを総合していくと、今度は定量的な評価ではなく定性的な評価に向かわざるを得なくなる。その意味では、委員長が言うように、小項目別評価の I から IV の評価は小項目としては中途半端ということになる。

パーセンテージがどうという話ではなく、評価段階案の基本的な考え方としては、大項目評価が小項目評価に、小項目評価が大項目評価に適しているのではないか。例えば、A が何割であれば、大項目評価として順調であるとするなどである。

事務局

例えば、小項目評価においては 4 段階ではなく 5 段階ぐらいにした方が適正な評価がしやすいという話か。

委員

いずれにせよ、評価全体の中で素晴らしいと思える、ここでいう S の場合は、それはちゃんと書き込んで、市民に見える形にできることが望ましい。大項目でくくったところで S は出てこない。

事務局

今日は決める場ではないので、ご意見を頂いて再度事務局で検討する。

委員

実際に評価する際に、どう評価をつけるか迷うと思う。

今の小項目でいうと、順調、良好の水準を超えている優れた実績とは、どういう場合に判断し得るか、項目別に見てもほとんどイメージできるものがない。数値が出ていればわかるが、数値がないものはどういう状態を標準的な目標としていて、それを超えているかどうか、当初の目標が見えないのでわからない。病院なり、市なりが考える標準的な目標が事前にあれば評価しやすくなる。

委員長

市からの目標にはそう詳しく示してはいないので、小項目に合致するようなところは目標としては出にくい。

とにかく、評価するにあたってガイドラインのようなものは確かにほしい。他に質問や意見はないか。

委員	<p>資料2の1ページ、2(3)「評価を通して、法人の運営状況を分かりやすく社会に示し、市民への説明責任を果たす。」について、説明責任を果たすというのは、評価委員会の評価がそれを目的とするのか、評価全体がそれを意図するということか、更には自己点検評価の問題ということで書き込んでいるのか。</p> <p>少なくとも評価委員会はアカウンタビリティを果たすことは考えなくても良いと考えるが。</p>
事務局	<p>基本的には、評価を行うプロセス全てを通しての説明責任と考える。</p>
委員	<p>私は、最後に言った、法人が自己点検評価を行うことが、業務の説明やアカウンタビリティを果たすことにつながると思う。</p> <p>それならそういった書き方でないと、評価委員会の評価を議論しているときに、その趣旨がそれでありますよというのは書き込みすぎではないかという気がする。</p>
事務局	<p>次回、規程に落とした段階で整理したい。</p>
委員	<p>資料2の4ページ、イの中期目標期間評価の表について、7月に「評価委員会①法人からのヒアリング」とあるが、これも点線ではないのか。点線で記載されたものは、中期目標期間評価ではないがこの時期に年度評価が行われているという意味で注釈的に書き込んだと思うが、そういう主旨ではないのか。</p> <p>つまり、中期目標期間評価のヒアリングは別に開催が必要ではないのか。</p>
事務局	<p>修正する。</p>
委員	<p>もう1点は、確認の意味の質問だが、平成29年度中に平成30年3月を想定していると思うが、それまでの中期計画の達成度を自己点検評価で出してもらおうと思うが、それが平成30年度開始後速やかにとある。それだけを資料として、この法人はこうすべきだとは言にくい。</p> <p>一方で、平成30年度なので、次期中期目標、中期計画を作成する手続きが始まりだしている。それとの関係で、評価委員会が、実績を見て市長に意見を申し述べる形でないと、実効的でない。</p> <p>「速やかに」というのはそれほど急ぐという意味なのか、確認である。</p>
事務局	<p>なるべく早めにご意見いただくという意味で「速やかに」と記載したが、4月早々というわけではない。</p>
	<p>ただ、次期中期目標の指示、中期計画の承認には、議会の議決が必要なので、それを見据えたスケジュール設定にする必要はある。</p>
委員	<p>見込みの資料だけで、意見を協議するのはなかなか難しい。</p>

	<p>実際、私の経験では6月に実施しており、それほど急いでできないだろうと思う。</p>
事務局	<p>中期目標だと実績だけでなく他の要因も出てくるので、その部分も整理しないといけない。できるだけ速やかにとという意味でご理解頂ければと思う。</p>
委員長	<p>それでは、ただいまのご意見等を踏まえて事務局で原案を作成し、次回審議することとする。</p>
-----	
<b>【議事(3)】</b>	<p>その他</p>
委員長	<p>次に「(3) その他」について、各委員・事務局から何かないか。</p>
事務局	<p>それでは、第2回の会議の日程を連絡する。  第2回の会議は、平成26年11月21日(金)午後2時から秋田市役所議場棟第2委員会室での開催を予定している。  また、第1回会議録については、まとめ次第、電子メール等で送付するので、確認をお願いします。  事務局からは以上である。</p>
委員長	<p>以上で議事を終了するが、他に何かないか。  なければ、進行を事務局へ返す。</p>
-----	
<b>閉 会</b>	
事務局	<p>平成26年度第1回地方独立行政法人市立秋田総合病院評価委員会を終了する。</p>